

平成 29 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 百 十 四 銀 行  
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 渡 邊 智 樹  
(コード番号 8386 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 豊 嶋 正 和  
(TEL. 087 - 836 - 2787)

## 新中期経営計画 「チャレンジ・バリュー・プラス」について

株式会社百十四銀行（頭取 渡邊智樹）は、平成 29 年度からの 3 年間を計画期間とする中期経営計画を策定しましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

新中期経営計画「チャレンジ・バリュー・プラス」では、人口減少等による地域のマーケット縮小、低金利環境の長期化による収益力低下といった逆境を変革のチャンスと受け止め、「5つのプラス」（事業基盤の強化）の実践でお客さまや地域をどんなときもサポートする体制を構築し、金融の枠にとらわれず「3つのチャレンジ」（営業力の強化）でお客さま・地域そして当行が一緒になって成長していくための新たな価値（バリュー）を共創いたします。また、「市場運用の強化」と「経営基盤の充実」に取り組むことで、当行の持続可能性を確固たるものにしてまいります。

中期経営計画(2017年4月～2020年3月)

チャレンジ・バリュー  (プラス)  
～金融の枠を越え、新たな価値を共創～

### 新たな価値を共創

#### 3つのチャレンジ



#### 5つのプラス



経営基盤の充実

市場運用の強化

## 1. 新中期経営計画の骨子

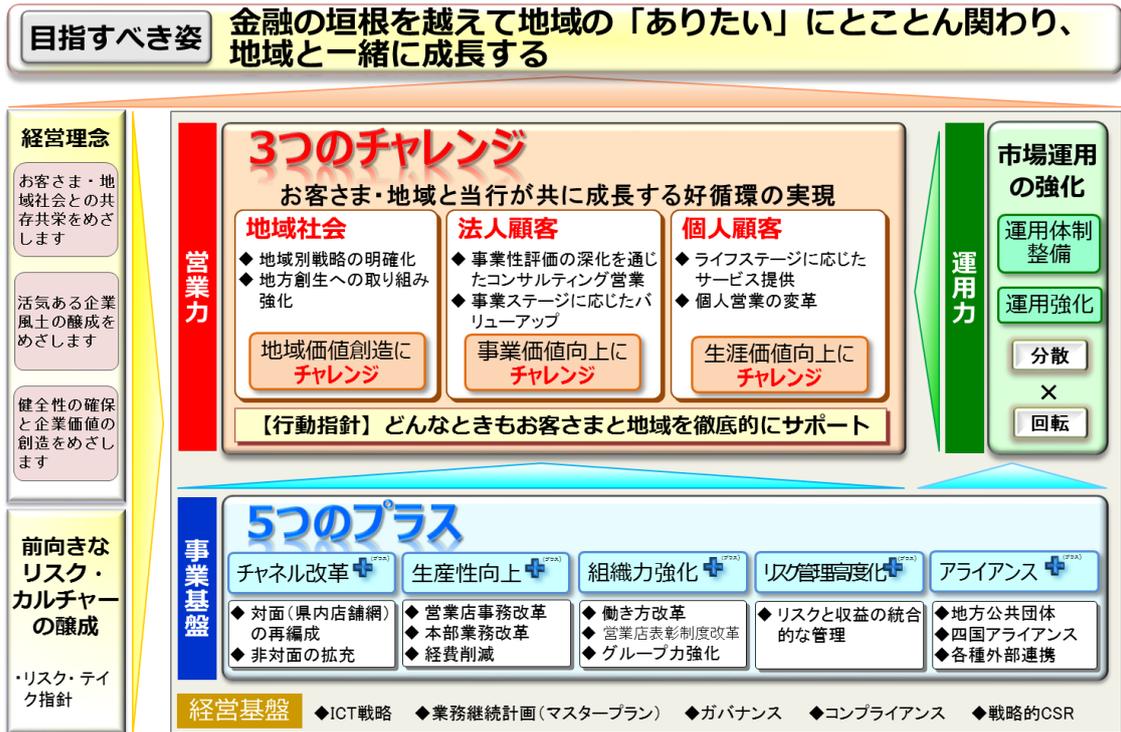
種 別	内 容
目指すべき姿	<b>金融の垣根を越えて地域の「ありたい」にとことん関わり、地域と一緒に成長する</b>
基本方針	<b>お客さま・地域と当行が共に成長する好循環の実現</b> Who :百十四グループは Where :地元香川県と瀬戸内経済圏を中心に How :組織や人材力、各種アライアンスを最大限活用して What :お客さまと地域の成長に貢献することで、自らも成長し Do :お客さまと地域のさらなる発展に一層取り組む
行動指針	<b>どんなときもお客さまと地域を徹底的にサポート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さまや地域と多様な接点をもつ</li> <li>・お客さまと地域を徹底サポートする</li> <li>・お客さまと地域と共に成長する</li> </ul>

## 2. 戦略概要

先に掲げた基本方針に基づき、お客さま・地域と当行が一緒に成長していくために、以下の戦略を遂行してまいります。

テーマ	内 容	
<b>3つのチャレンジ</b> (営業力強化)	地域価値創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別戦略の明確化</li> <li>・地方創生への取り組み強化</li> </ul>
	事業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業性評価の深化を通じたコンサルティング営業の強化</li> <li>・事業ステージに応じたバリューアップ</li> </ul>
	生涯価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じたサービス提供</li> <li>・個人営業の変革(顧客本位の営業スタイル徹底)</li> </ul>
<b>5つのプラス</b> (事業基盤強化)	チャネル改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面チャネルの再編</li> <li>・非対面チャネルの強化(モバイルバンキングの充実)</li> <li>・機能特化店(ローンプラザ等)の機能拡充</li> </ul>
	生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業店事務改革(店頭スタイル転換、後方事務極小化等)</li> <li>・本部業務改革(本部組織変更、ペーパーレス化の推進等)</li> <li>・経費削減</li> </ul>
	組織力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革(人事制度改革、人材力・組織力の強化等)</li> <li>・営業店表彰制度改革(評価項目、評価方法等)</li> <li>・グループ力強化(連結ベースの収益力向上)</li> </ul>
	リスク管理高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクと収益の統合的な管理で健全性維持と企業価値の最大化</li> </ul>
	アライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当行単独で実現困難な施策に各種アライアンスで対応</li> </ul>
<b>市場運用の強化</b>	運用体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペシャリスト育成</li> <li>・ポートフォリオ管理及びバックオフィス業務の集約</li> </ul>
	運用強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全で最適なポートフォリオの構築・運営</li> </ul>
<b>経営基盤の充実</b>	ICT戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略案件への予算の優先配分</li> <li>・AI等の新技術への対応</li> <li>・セキュリティ確保等</li> </ul>
	業務継続計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先店舗の設定、開店可否判断の明確化等</li> </ul>
	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査等委員会設置会社への移行</li> </ul>
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス意識の更なる向上</li> </ul>
	株主還元方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定配当継続</li> <li>・株主還元率 30% 目処</li> </ul>

<戦略体系図>



3. 経営目標

百十四グループが総力を挙げて「目指すべき姿」の実現に挑戦するため、次の経営目標を設定いたします。

- ・地域価値創造やお客さまの事業価値・生涯価値向上にチャレンジするとともに、市場運用を強化し、厳しい環境下においても安定的な利益を確保してまいります。
- ・リスクアセットをコントロールしつつ、ポートフォリオの改善を図り、健全性の維持と資産効率の向上に努めてまいります。

種別	指標	最終年度目標
収益性	①連結当期純利益	95億円以上
効率性	②連結 ROE	3.0%以上
健全性	③連結自己資本比率	9.5%以上

- ①連結当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」
- ②連結 ROE = ①連結当期純利益 ÷ ((期首純資産の部(連結) + 期末純資産の部(連結)) ÷ 2)
- ③連結自己資本比率は、経過措置を考慮したバーゼルⅢベースの連結コア資本比率

以上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

経営企画部 広報 CSR グループ 太田(康)      【電話】087-836-2916